

意見書案第10号

在日米軍基地強化をめざす「高島市饗庭野日米合同演習」
のオスプレイ参加に反対する意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

平成25年9月17日提出

提出者	
向日市議会議員	和田 広 茂
賛成者	
向日市議会議員	杉 谷 伸 夫
	飛鳥井 佳 子

在日米軍基地強化をめざす「高島市饗庭野日米合同演習」のオスプレイ参加に反対する意見書

陸上自衛隊と米海兵隊が10月に、滋賀県高島市の陸上自衛隊饗庭野演習場で行う日米共同訓練に、米軍普天間基地に配備されたMV22オスプレイを参加させるとの報道がされている。

オスプレイは開発時から、配備された世界各地で墜落事故を起こしている欠陥機である。8月26日にもネバダ州で通常訓練中に着陸に失敗する事故を起こしている。今回、滋賀県饗庭野演習場での訓練中、オスプレイは拠点を普天間から山口県岩国基地に移すと報道されており、オスプレイの訓練が強行されれば、住民の命と安全の危険は西日本全域に及ぶ。また、移動時に京都府の上空を通過することは必死である。

沖縄では米軍ヘリが墜落その原因究明も行われないうまま、事故から一週間後にオスプレイの追加配備が強行され、沖縄は大きな怒りに包まれている。沖縄県民の総意は今年1月、沖縄の全自治体と地方議会が安倍晋三首相に提出した「建白書」で明らかのように、「オスプレイの配備を直ちに撤回すること」「米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念すること」である。

在日米軍基地強化につながるオスプレイのさらなる受け入れや、訓練を全国に広げることは断じて許されない。ましてや安倍政権と防衛当局が、饗庭野演習場での合同訓練へのオスプレイ参加を口実に、沖縄県知事に対して辺野古への新基地建設への協力を求めるなど言語道断である。

7月26日に関西広域連合が「沖縄の負担軽減を早急に示すように」と政府に申し入れたことが、今回の饗庭野での訓練の後押しをしたと報道されており、「沖縄の負担軽減」を口実にオスプレイの参加を認めることは絶対に許されない。

よって、在日米軍基地の強化につながる、饗庭野演習場での日米合同演習へのオスプレイ参加と演習の中止を強く、日米両国政府に求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月17日

京都府向日市議会